

## 『新 緑 便 り』 ～新体制でスタート～



後志教育研修センター  
所長 長谷川 誠

新型コロナウイルス感染症対策を講じた3年目の教育活動がはじまりました。学校現場では毎日が少しも気を抜くことのできない状況にあるのかと推察致します。

そのような中でも、4月当初の研修講座の申込受講者は例年より50名ほど多い先生方が申込をされており、550名を超える見込みであります。今年度新たに就任した研修講座主事の小山先生（倶知安中学校）は時間をかけて受講決定通知書を作成しています。今年度の研修講座申込みの大きな特徴の一つに、主幹教諭や教務主任を対象の「ミドルリーダーによるカリキュラム・マネジメント」講座が定員の24名近くに達したことです。それを含めても、管内の先生方の研修に対する真摯な姿勢に、心より敬意を表したいと思います。

今年度の当センターの所員体制は大きく交代があり、20名の所員のうち、副所長を含む10名が新たに辞令を受けました。副所長に倶知安町校長会より木村和義校長（倶知安中学校）、小樽市からは過去に所員経験もある金井建憲教頭（朝里小学校）、兼務所員には継続でベテランの研修部長である原田益明主幹教諭（倶知安小学校）、新規で所員経験が豊富な鶴見卓哉教諭（岩内西小学校）が調査研究主事としてその任に付きます。

学校教育の新規所員は5名、中村かずえ教諭（黒川小学校）、菊地勇人教諭（京極中学校）森本 恵教諭（北陽小学校）、山本啓太教諭（岩内第一中学校）、千葉慎也教諭（寿都小学校）、そして、社会教育の新規所員は2名、村山弘樹社会教育主事（共和町教育委員会）、藤田 創社会教育主事（倶知安町教育委員会）です。どうぞよろしくお願い致します。

本日、辞令交付式と第1回の所員会議がありました。当センター組合教育委員会の村井 満教育長（倶知安町教育委員会教育長）より、所員一人一人に辞令が手交され、少し緊張した面持ちでした。しかし、その眼差しに確固たる責務と意欲を垣間見ることができました。

所員会議後の研究委員会では、学習指導研究委員長に就任した富樫広介教諭（黒松内中学校）、社会教育研究委員長に就任した奈良周弥社会教育主事（島牧村教育委員会）を中心にそれぞれ有意義な話し合いを持ちました。笑い声あり、和気藹々の中にも真剣な研究委員会の時間を過ごしました。これから一年間大変楽しみな所員達の活躍に期待したいと思います。



(R4.5.16)